

長野県議会一般選挙結果

4月8日に行われた長野県議会議員一般選挙は、選挙区がこれまでの「北佐久郡」から「佐久市・北佐久郡」に定数も「2名」から「4名」に変わり行われました。今回は5人が立候補し、その結果寺島義幸氏、柳田清二氏、木内均氏、今井正子氏が当選しました。当町の投票率は50.15%で前回の選挙(60.48%)を10%以上下回りました。投票結果は次のとおりでした。

当日の有権者数 11,066人
投票者数 5,550人
有効投票数 5,478票
無効投票数 72票

●投票率

	今回	前回
御代田町	50.15%	60.48%
佐久市・北佐久郡	60.19%	※69.61%

※は北佐久郡のときの投票率

●投票結果

	候補者名	御代田町	佐久市・北佐久郡
当	寺島 義幸(無所属)	1,858票	15,595票
当	柳田 清二(無所属)	549票	14,722票
当	木内 均(無所属)	656票	13,482票
当	今井 正子(無所属)	1,316票	12,521票
	藤岡 義英(日本共産党)	1,099票	9,997票

●地区別投票率(%)

地区	三ツ谷旭町	馬瀬口八ヶ倉	清万一里塚	塩野寺沢	児玉	栄町桜ヶ丘	上宿小田井
投票率	56.43	54.02	49.05	52.39	48.52	46.60	59.22
草越	広戸	豊昇	面替	荒町	向原大	西軽井沢	平和台
	68.73	70.95	59.75	75.00	54.48	41.02	54.10

※メタボリックシンドロームとは…おなか周りに脂肪がつく内臓脂肪型肥満の人が、「高血糖」「高脂血」「高血圧」といった生活習慣病の危険因子を、2つ以上併せ持っている状態

【実施医療機関、実施項目】

医療機関名	項目	オプション検診			
		基本健康診査	肝炎ウイルス検査	前立腺がん検診	胸部レントゲン検診
御代田中央記念病院	身長、体重、検尿、血圧測定、血液検査、心電図、(65歳以上は生活機能評価を追加)、診察、大腸がん検診	○	○	○	○
井田医院		○	○	○	△
宮下内科循環器科クリニック		○	○	○	△
佐々木小児科内科医院		○	○	○	△

※他、予約方法、料金等、くわしくは「平成19年度保健予防事業実施計画表」もしくは役場、保健センター、町内医療機関等に貼られているポスターをご覧ください。

【個別基本健康診査の申込み及びお問い合わせは、保健センター（☎32-2554）へ】

平成19年度 個別基本健康診査のお知らせ

日本人の三大死因は、がん、心臓病、脳卒中です。心臓病と脳卒中は「循環器疾患」と呼ばれ、メタボリックシンドロームがひきおこす動脈硬化によって発病しやすくなりますが、その診断基準には、血液検査を受けないとわからないものもありますので、年に一度は健診を受けて体の異変を早期に見するように努めましょう。

町では、身近な町内の医療機関で受けられる健診として「個別基本健康診査」を、今年度は5月、8月、11月、2月に実施します。30歳以上で集団基本健康診査や人間ドック、職場検診等で健診を受ける予定のない方は、ぜひご利用ください。

5月は春の農作業安全運動月間

農作業機械の使用 農薬散布時の飛散

に気をつけましょう

安全確認を!!

春の農繁期となり、農業機械の使用にも「慣れ」が出てきた頃ではないでしょうか。

農作業中に起こる事故は、増加傾向にあります。

事故は、高齢化による体力の低下、反射神経や判断力の低下によるものが多いと言われていますが、実は「慣れ」による油断から事故を招くケースも多いのです。

農業機械の使用には次の点に注意し、事故を防止しましょう。

- ◎乗用型トラクターへ安全フレーム、安全キャブを装着しましょう。
- ◎機械・施設の日常点検をしましょう。
- ◎刈払機使用時は保護メガネなどの保護具を着用しましょう。

- ◎農耕車の道路走行時は昼間点灯し、農耕車には夜光反射材を装着しましょう。

使用基準を守って

農作業が本格化するこの時期は、農薬散布作業での河川水汚濁事故が発生しています。ポジティブリスト制度が施行され2年目を迎えますが、引き続き農薬飛散防止などの対策を十分に講じて下さい。

対策として:

- ◎住宅地周辺の農地で農薬を散布するときは、事前に周辺住民に対して周知を図りましょう。
- ◎農薬は、使用基準に従って使用することはもちろんで

すが、薬剤の調整・散布器具の洗浄も十分行いましょう。風の弱い時に風向き、方向や位置に気をつけて散布しましょう。

◎ドリフト低減ノズルを使用し、散布量が多くなりすぎないよう気をつけましょう。

◎周りの作物にも登録のある農薬を使用しましょう。

◎飛散しにくい粒剤などの農薬を使用しましょう。

◎周りの作物をネットやシートなどで一時的に覆いましょう。

もし、飛散が起ってしまったら、すぐに周りの栽培者に知らせ、指導機関へ相談してください。

指導機関

- ※長野県病害虫防除所 ☎026-248-6471
- ※佐久農業改良普及センター ☎0267-163-13167
- ※JAなどの営農指導員



こんにちはは農業委員会です

御代田町農業委員会事務局32-3111 内線26・27番
農地にはこんな機能があります!

農地には食料を生産する以外にも、たくさん大切な機能があります。

◆災害を防止する機能

市街地では、アスファルト舗装などで地表が覆われているため、大雨になると雨水がそのまま流れ、水害が発生しやすくなっています。農地は雨水を一時的に蓄えて徐々に排水路や川に流したり地中に浸み込ませていくなどの働きがあるため、地域の水害を防ぐ機能があります。

また、農作物が風雨の影響を和らげ、土壌の侵食を防止する機能もありません。

◆環境を保全する機能

水田には二酸化炭素を吸収して酸素を放出する「大気保全機能」があり、その機能は、なんと森林の持つ大気保全機能の約半分、との調査結果があります。

また、亜硫酸ガスなどを吸収し無害な物質に変える機能があるとも言われ、このような機能を、二酸化炭素を回収するコストや酸素を製造するコストなどに換算すると「水田10アール当たり6万1千円分もの環境保全の働きがある」との試算もあります。

良好に耕作された農地にはバクテリアなどの微生物が生息し、家畜排泄物や生ごみなどの有機性廃棄物を分解して農作物を育てる養分となります。農地は安全・安心な農作物の生産基盤であると共に、かけがえのない多面的機能があり、「地域の農地を守ることが、地球の環境を守ることにつながる」と言っても過言ではありません。

農地の持つ他面的機能を見直して、一人ひとりが意識をして遊休農地を減らし、地域の優良農地の保全に努めましょう。